

E-DREAMS

No. 12 発行:2001.5.13 [特定非営利活動法人 イー・ドリームズ] 通信

e-dream-s を語り、写真の集中を！

先月号でもお知らせしましたように、東京書籍株式会社との「写真プロジェクト」が始まりました。(詳しい報告は、この通信の「報告」欄を参照して下さい)

まず、第1回は、「モンゴル」と「中国」の写真。

「モンゴル」については、既に集まっている写真の中から約200枚を選び、データ入力もほぼ完了しています。後は製品化の作業(袋詰め、データ整理など)をしていくことになります。

一方、「中国」の写真は、現在進行中です。しかし、まだ予定している枚数が集まっていません。会員の皆さんの力で、早急に写真の集中を！

今後も様々な国の写真を続々と集めていきます。これを機会に、周りの人たちに、e-dream-s の夢を語り、「写真アーカイブ」事業について話し、協力をお願いしましょう。これは、新しい会員を増やしていくチャンスです。

e-dream-s.come.true

備えあれば憂いなし:老化対策考

顧問 井川 好二

航空チケットや通勤定期の購入の度に、嘘をつく。年齢のことである。正直に実際の歳を言わず、いつも5つや6つは若く言ってしまう。だから、航空券や定期に関する限り、私の最近の年齢は 45 歳である。

どうせ誰に咎められるわけではないのだと、高を括ってはいるが、それでも高校生時代にジャズ喫茶店で、カッコつけてたばこを吹かしていた時に似た罪悪感がないでもない。

同窓会などに出席する趣味はないのだが、行きたくない理由のひとつに、昔のご学友たちの老けぶりを目の当たりにして、自分の実年齢を無理矢理自覚させられるのは、ご免被りたいってこともある。

幾つになっても、自分はまだまだ若いと思いたい。自分だけは例外だと思いたいのである。しかし、老いは必然、誰しも避けがたい。ならば、せめて、明るい老人になりたいものである。寝たきりやボケ老人にはなりたくない。身体も脳も精神も、健康に老いていきたいものである。自分自身も含めた「高齢化対策」に関して言えば、e-dream-s は老化にも効くのである。

浜松医科大学教授の高田明和は、脳や身体の老化防止に関して多くの本を出している。私にとっては無論、「脳の老化」の方が、「身体の老化」より気になるわけなのだが、その高田が近著¹で、脳の老化を止めるには、14の方法が有効である、と言う。ちょっと、面白いので以下に紹介する。

1. 健康に悪いものこそ身体に必要なもの
2. できるだけ身体を動かす
3. 一日 40 分は歩く
4. 片足で立つ練習をする
5. 50 歳を過ぎたら難しい仕事はしないようにする
6. 好奇心を持つ
7. カフェインを摂る
8. 65 歳までは仕事を続ける
9. 日記をつける
10. 芸術に触れる
11. 若い人と触れあう
12. 外国語の勉強をする
13. 睡眠のリズムを守る
14. 考えを整理する (pp. 171-187)

些か煩雑で、中にはどうかと思う項目もあるので、以下私なりに纏めてみる。脳の老化を防ぐためには、

旨いものを楽しく味わい、好奇心を持って人生を楽しみ、適度な運動をし、ストレスを貯めず、孤独に陥らず、程良い刺激を喜び、論理的に物事を考えるように努める。

ちなみに、私が一番納得しているのは、無論、「旨いものを楽しく味わい、好奇心を持って人生を楽しむ」と「程良い刺激を喜び」の部分である。

¹ 高田明和 (2001) 「脳から老化を止める:40 歳すぎても脳細胞は増やせる」東京:光文社

高田によると、これまで「健康に悪い」とされてきた肉料理などは、脳や身体に必要なタンパク質を摂取するために、是非必要であり、現代人のコレステロール増加に対する過剰な不安からくる「粗食」ブームは危険だと指摘する。だから、旨いものは食べなければならないのだ。

それに、近年の研究では、コレステロール値が増えて、脳血栓などが発症するのはむしろ、ストレスによる影響の方が大きいと言う実験結果がでているそうだ。高田(1996)²は、こうも言う。

動物性タンパク質の供給源である食肉は、コレステロール値を上昇させると敬遠する人がいますが、これまでの話でコレステロール値は高過ぎても低過ぎてもいけないことがおわかりになったと思います。だから食肉を敬遠するのは間違いで、とくにお年寄りには適正な量を欠かさず食べる必要があります。それに食肉にはコレステロールやタンパク質だけでなく、アナンダマイドという脳に非常によい効果を与える物質も含まれています。

心強い発言である。

カフェインの摂取についても若干補足をする必要があるだろう。高田は、コーヒーやお茶に含まれるカフェインは、脳の刺激剤であると言う。治癒力、免疫力を強化する食事法を提唱する飯塚律子(2000)³も、同様にカフェインの効用を説く。「カフェインには大脳の中枢神経を刺激して、眠気をさまし、頭をすっきりさせる働きがあります。」(p. 26) なるほど。

しかし、脳の老化防止の問題に戻ると、高田の考えの下敷きになっているポイントは3つある。

- (1) 40歳を過ぎても脳細胞を増やせる
- (2) ストレスが脳細胞を破壊する
- (3) 脳が活性化すれば、身体も健康になる。その方法は:(a)身体を動かすこと、(b)脳と身体に必要なものを摂取すること、(c)心地よい刺激を得ること。

このような考えに立つと、NPOとしての e-dream-s に、積極的に参加することが、いかに脳の老化を防ぎ、明るい老人を育てることに役立つかは明白だろう。

60歳を過ぎても仕事は続けた方が良い。しかし、やる仕事は楽しく、やりがいがあり、ストレスのないものが良い。だから、共通の理念を持つ若い仲間たちと一緒にタスクを楽しみ、目 e-dream-s 通信 2001.5 No.2

標の実現に向かって努力し、頭を使い身体を動かし、ワイワイと旨いものを食べ旨い酒を飲む。時に論理的に考えたり外国語を使うことが要求され、異文化に刺激され新技術に触発される。斯くして、脳細胞は活性化し増殖して、身体も健康になる。

² <http://group.lin.go.jp/jmi/health/interview.html>

³ 飯塚律子(2000)「クスリになる食べもの・食べ方」東京：講談社

つまり、旨いものを楽しく味わい、好奇心を持って老後の人生を楽しむために、e-dream-s は欠かせないのである。だから、私の場合、航空券と定期の年齢は、当分、45歳でOKなのである。(Thursday, May 10, 2001)

“時代を拓く”

副代表理事 中川房代

最近の女性と政治を巡るニュースからー

- 3月 千葉県知事選挙。堂本暁子さんが当選。3人目の女性知事に
フランス。昨年制定された「男女同数法」—公職選挙の立候補者は男女同数にしな
ければならない—に基づいた選挙が行われた
- 4月 大阪府島本町議会選挙。18人の定数に、9人の女性が立候補し、8人が当選した
小泉内閣が発足し、5人の女性が入閣した

女性の動きが活発である。

政治への参画意識は女性の方が強い、という数字がある。衆院選では、1969年以來、投票率は女性が男性を上回り、統一地方選でも、同じ傾向を示しているようだ。(毎日新聞 社説 2001年4月17日)

私も、女性の一人として、このような女性の活躍には大いに勇気づけられるし、日々励まされる思いがする。同時に、問題はこれからだ、と思う。これからどんな働きをしていくのか、支持してくれた人やもっと広範な人々の信頼をどう得ていくのか。どんな政策を出していくのか。女性だから、頑張っているから、だけでなく、内容が問われてくる。

NPO法人「フィフティ・ネット」代表理事の森屋裕子さんはこう言っている。

「女性を50%に」と主張すると、「政策が肝心。女性だからいいというものではない」という反応が必ず返ってくる。私も「女性なら誰でもいい」と思っているわけではない。しかし、「女性の数が増える」ことは、政策に質的転換がもたらされる可能性が高いことには留意すべきである。……

「何をどのように主張するのか」とともに、「女性として何を主張するのか」も問われている。(朝日新聞「私の視点」2001年5月6日)

島本町の選挙結果の報道で、「町動かした『主婦の声』」(産経新聞 2001年4月16日)とか「『政治は男』意識にさよなら」(毎日新聞 社説 2001年4月17日)という新聞の見出しは、逆に男性を排除しているような気がして個人的に私は好きではないが、彼女たちのように自分たちの手で政治や地域を変えていこうという女性の動きは、政治の枠を超えて、これからの社会を確実に大きく動かしていくと思う。

先日、私の勤務する中学校でも、生徒会選挙が行われた。立候補者は8割が女子生徒。時には、役員全員が女子、ということもある。クラスで学級委員などの委員を決める時も、積極的に立候補するのは女子だ。

一般的にまだ男女平等の問題が解決されていない現在の社会の中では、まず女性が主張し、頑張っていくことが必要だ。加えて、私は、男性ともしっかりと手を携えて歩んでいきたいと思うのである。

報告:写真プロジェクト;「中国」

中川 房代

4月号でも報告したように、「東京書籍(株)との写真プロジェクト」が本格的に始まりました。第1回は、「モンゴル」と「中国」の写真を予定。5月3日、西宮市の藤澤理事宅で、中国の写真の選定と説明文作成の作業を行いました。

手順は、まず、持ち寄った写真を皆で見ながら、「使えるもの(採用)」と「そうでないもの(不採用)」を選別します。次に、選ばれた写真に説明文をつけていきます。通し番号、タイトル、撮影場所(都市名など)、撮影年月、撮影者、写真の説明文を確認し、コンピュータに入力。1枚1枚を透明なビニール袋に入れ、先程コンピュータ入力したデータをプリントアウトしたタックシールを袋に貼って完了、となります。

第1回の作業の写真を選ぶ過程で、参加したメンバーの間で、こんな写真がいいな、これが使える写真だ、という共通認識ができました。何が写っているのかが明らかなこと、その国や地域に独特のものであること、などです。(文章にすると当たり前ですね。)

e-dream-s 通信 2001.5 No.3

中国の写真は、現在 73 枚が完了。「教材提示機」を用いて、皆で写真を見ながら使えるものかどうかを決めていくのですが、持ち寄った写真の中で選ばれるのは、60 70%程で、全てが採用されるわけではありません。従って、もっと多くの写真を集めなければなりません。今回検討したのは10人程から持ち寄った写真です。まだまだ会員の皆さんの家のタンスや本棚に眠っている写真があるはず。家

族や友人、知人にも呼び掛けて写真を集めましょう！

以降の計画は以下の通りです。

1、「中国」の写真

締切り: 5月20日(できるだけ早く郵送して下さい)

2、「モンゴル」の写真

現在、200枚弱を選んでいきます。

前原さんから依頼のあった方は、説明文の記入をお願いします。

3、写真に添付する説明文の形式について

(1) 写真の裏には、「撮影者の名前」と「写真番号(自分の写真の通し番号でよい)」を書いておく。

(2) 写真の説明文は、写真の裏に書くのではなく、必ず別紙に以下の5点を書くこと。
(紙の種類、形式は不問)

1. 写真の通し番号(どの写真の説明が分かるようにするため)

2. 写真のタイトル(題名)

3. 撮影の年と月(西暦で)

4. 撮影場所 国と都市名(町名、道路名)

5. 写真の説明(正確に。何が写っているのか、1文程度。憶測や主観は入れないこと)

4、写真(ネガ)提出の具体的なスケジュール(予定)

今後、以下の日程で、束書に写真を渡す予定です。(写真・ネガは、後日返却します。)

5月末 「モンゴル」「中国」

6月末 「イギリス(part 1)」「アメリカ」

7月末 「韓国」「ネパール」「タイ」「インドネシア」「台湾」

9月末 「イギリス(part 2)」「フランス」「アイルランド」「オーストラリア」

その他の国・地域

5、写真(ネガ)の送付先、問い合わせ先

中川副代表理事

報告:「ののちゃん」質問状への回答

4月19日、4月3日に送付した『ののちゃん』マンガへの質問状(第2弾)への回答が届きました。

ところで、皆さんはご存知ですか。

何と、『ののちゃん』のマンガが、来年度から採用される小学校5年生の国語の教科書の教材として掲載され、また、7月からはテレビでの放映も決まっているそうです。(関東地区のみ)

また、朝日新聞の週刊誌「アエラ」には、こんな文章が載っています。

いしいひさいちが朝日新聞の朝刊に連載している四コママンガ『ののちゃん』には、「フジワラ先生」という小学校の女性教諭が登場する。二日酔いで登校しては授業を自習にし、保健室で寝てしまう。教え方もいい加減だ。大阪府教委が挙げた「問題教師」にぴったり当てはまる。

でも、子どもたちは荒れない。

「先生はしょうがないな」

とぼやきつつ、学校生活を楽しんでいる。みな、精神的に安定しているから、教師に多くを求めないのだ。フジワラ先生の「いい加減さ」が、逆に子どもたちにゆとりを与えているようにも見える。(「問題教師こんなにいる」-- 朝日新聞WEEKLY「アエラ AERA」No.16

2001.4.2 p.11)

書かれている話題は違いますが、新聞でも雑誌でも、朝日新聞社は基本的に同じ考えのようですね。

以下、届いた回答を紹介します。

今後の進め方などについての意見や感想もお願いします。

送付先：マスコミ・ウォッチ・ドッグ担当

辻岡 尚子 (ntsujioaka@aol.com) 塚本美紀 (miki@05.alphatec.or.jp) まで

e-dream-s 通信 2001.5 No.4

特定非営利活動法人 イー・ドリームズ

代表理事 辻 荘一様

副代表理事 中川 房代様

ACROSS (アクロス)

会長 河野 良子様

副会長

藤澤 俊之様

2001年4月18日
朝日新聞社広報室

拝啓 2001年4月3日付で再度のご質問をいただきました。当社の見解は先にお届けした2001年1月9日付のお返事にお示した通りですが、なお「わかりにくい」とのことですので、補足してご説明させていただきます。

【ご質問1について】

続けてお読みいただければ幸いと申し上げましたが、同時にそれぞれ一作一作が完成した作品でもあります。ご覧になってご意見を述べられるのは一回だけについてであれ、あるいは何回かについてであれ、不適當とは思っておりません。

【ご質問2について】

「これこれこういう感じ方は理解が不足、見当はずれな感想」などとは考えておりません。「こういう読み方以外は間違いだ」という考えほど、私たちの考えから遠いものはありません。

【ご質問3について】

「ののちやん」は前身の「隣のヤマダ君」から通算して、今年の10月に連載10周年を迎えます。この10年の連載の中で、子供たちと藤原先生の間には、お互いに憎まれ口を言いあえるような親近感が培われてきました。解釈は多様ですが、私たちは子供たちが藤原先生を敬愛していると考えています。「ののちやん」は単行本（第7巻までチヤンネルゼロ刊、第8巻からは双葉社刊）が出ております。ご質問2についてでもお答えしましたが、解釈は多様でありますので、具体的にはそちらをご覧いただければ幸いです。

【ご質問4について】

さまざまな感想を抱かれる読者がおられることは、おかしいとは思っておりません。

【ご質問5について】

連載10周年の流れの中において、親しみをこめた憎まれ口として違和感のない言葉であったと考えております。

【ご質問6について】

10年間掲載してきた作品世界で培われてきた登場人物の人間関係を前提として、許される範囲内の言葉であったと考えております。

【ご質問7について】

繰り返しになりますが、「こういう読み方以外は間違いである」というような考えを私たちは持っておりません。

【ご質問8について】

作者の創作力を尊重するという信頼関係にたって作品を依頼しております。もちろん、読春のみなさまから頂きましたご指摘、ご感想は作者に伝えてありますし、学芸部の担当者は今後とも編集者としての役割を果たしていく所存です。

【ご質問9について】

このマンガに限らず、毎日、数多くのご指摘、ご意見を頂戴しております。重ねて申しあげますが、「特定の読み方以外は間違いだ」というような考えを私たちは持っておりません。ご指摘の一つ一つを重要なものと考えており、そうした声に日々学びながら紙面に反映させていきたいと思っております。

以上、お答えに代えさせていただきます。ご理解いただければ幸いです。

敬具

報告:e-dream-s ホームページ

理事 原口恵美

検索サイトへのe-dream-sホームページの登録に際して必要なキーワード、および紹介文を以下のように決定したいと思います。

キーワード(10)

NPO ・ 教育 ・ 国際交流 ・ アジア ・ 情報
写真 ・ 海外ツアー ・ 研修 ・ 学校 ・ 英語

紹介文(50字)

教育・コミュニケーション・国際化に関心を持つ世界中の人々とのネットワーキングを推進している NPO

[e-dream-s 通信 2001.5 No.5](#)

紹介文(100字)

イー・ドリームズは民主的な地球市民社会の発展のために、教育が大きな役割を果たすと考えています。教育、異文化間コミュニケーション、国際化に関心を持つ世界中の人々とのネットワーキングを推進している NPO です。

キーワードには、教育用フォトアーカイブのことを考え「写真」を追加しました。また、紹介文としては、灰田理事の進める「ホームページ英語版」の紹介文をもとにして考えたものを採用することにしました。早速、業者に検索サイトへの登録を依頼する予定です。登録状況については、次回連絡します。

「e-dream-s 通信」4月号でもお知らせがあったように、ホームページの韓国語版、および英語版のテキストが完成しました。今後は、どのようにホームページ上に載せていくのか検討し、早期実現を目指してがんばります。

追伸 先日の私の結婚式に際しまして、e-dream-s より心温まる祝電をいただき、大変感激しました。この場を借りて、お礼申し上げます。ありがとうございました。

おめでとう！

原口理事は、4月28日、結婚されました。人生のパートナーを得て、これからますます、学校の仕事に、また e-dream-s の仕事に、頑張ってくれることと思います。どうぞお幸せに！

報告：NPO 支援税制勉強会

理事 志村 洋子

日時：4月16日（月） 19:00～21:00

会場：東京ウイメンズプラザ

2001年1月16日、「平成13年度税制改正の要綱」を閣議決定した。そこに「NPO支援税制」の導入が盛り込まれた。この法案を熟知して、その上で、実態にそぐわないことを実証していく、という勉強会でありました。私は熟知に至らず、ましてやイー・ドリームズに当てはめて考えることができていません。法の解説の中で印象に残ったこと、出された質問の中から2つを報告します。

<解説：“認定NPO法人”>

基本的事項

1. 情報公開
2. 事業内容の適正性 — イ、ロ、ハ、ニ、ホ、ヘ
3. 運営組織の適正性

4 . 5 . 6 . 7 . 省略

- * これらの中で用いられている ” 親族 ” は “ 6 親等の血族 ” ” 3 親等の姻族 ” で、申請の時点で実際調べるのは無理。
- * 日本版パブリックサポートテストの算式によれば、ある特定一団体から多額の寄付をもらおうと不利になる。
- * 役員からの寄付は算入しない。会員が寄付しない団体に他の誰が寄付するだろう？
- * 一者につき年間 3,000 円を超える寄付から算入する。
- * 寄付が一者につき小額でも多額すぎてもうまくない。ほどほどの寄付を多くの人から。

< 質問 >

- * こんな扱いにくい基準を誰が考えたのか。.....特定の人にはわからない。
- * 今後変更の可能性はあるのか。.....考えようによっては一年一年変わらざるを得ない。
- * 変えていくためにも、改善が求められることについてぜひご意見ください。

今、認定を受けようとしている団体は？ ときかれて上がった手は一つでした。

C's としては、まずこの法を熟知して自分のところに当てはめて問題点を明らかにしてほしい、ということでした。会員になってほしいという要望がありました。

e-dream-s 通信 2001.5 No.6

News A バックナンバー目次作成へのご協力のお願い(再度)

News A CD-ROM 化プロジェクト担当 丸 野、飯 田

以前にもお知らせしましたが、News A バックナンバーの整理も、まずスキャン作業はすべて完了し、

次は目次とキーワード書き出しの段階に入っています。

が、遅々としてはかどりません。何しろ時間がかかるのです。その上、スキャンの時と違い、英語テープを聴きながら、音楽を聴きながら・・・という「ながら」作業ができないため、まるまるその時間を空けないといけないのが辛いところです。

1ヶ月分の News A (B5×20 ページ程度として) の目次(年・月・ページナンバー、著者名、記事のタイトルおよびサブタイトル) とキーワード書き出し(各記事ごとに平均して5～10 個くらい) に約1 時間半～2 時間かかります。



この作業を飯田さんと私だけで行うとすると、それぞれ毎日 2 時間ずつ割いたとしても、手元にある分量からして、完了するのに約 4 ヶ月半かかる計算になります。実際はお互い仕事やその他の用事があり、毎日 2 時間も費やすことはとても不可能なので、まず少なくとも 1 年はかかりそうです。

News A をていねいに読み返しながらかードを書き出す作業は、再発見することがあったりでまったく無駄とはならないことは確かですが、2 人も一度読んだ記事ばかりですから、正直言ってそれほどワクワク面白いというものではありません。逆に、まだ読んだことのない新しいメンバーなら、楽しく作業できるのではないかと思います。ちなみに今回の対象は 1981 年～2000 年までの分です。

この前の飯田さんからの呼びかけに対して、これまでに申し出て下さったのは大阪の朴さんだけでした。朴さんはただでさえ事務局で忙しい中、ほんとうに有り難く感謝しています。

協力していただくにはパソコンで Excel というソフトを使えることと、Eメールが出来ることが必要ですが、サンプル付きできちんとフォームを作ったものをお渡しますので、ただ入力するだけです。Excel はウィンドウズ方式のパソコンにはすべて入っていますので、ほとんどの人はお持ちのはずです。Excel はテストの点数の集計など成績処理に便利なソフトなので、使った方は多いと思いますが、もし未経験の人は良い機会なので Excel を覚えてみませんか。東京地方は丸野が、関西地方は飯田さんが喜んでインストラクターを務めさせていただきます。

お一人 1 ヶ月分でも協力していただければ大助かりです。何年のものを、と指定して下さいても構いません。ご連絡は下記へ Eメールをお願いします。

丸野・・・ymaruno@mac.com 飯田・・・sihda@po.aianet.ne.jp

(丸野)

全権大使、飯田佐恵

理事 飯田 佐恵

えっ？ 飯田佐恵さん、何の全権大使？

実は、私、飯田佐恵は今年の4月から某顧問のお勧めで日本語教授法講座に ACROSS と e-dream-s を代表して参加しています。受講の理由は近年、外国での日本語学習が盛んで、ひょっとしてそんなところを見学した時に、外国語としての日本語学習および教授理論の知識をもって参観できたらよいのではないかということからです。早いもので、週に2日、合計10回の基本コースもほとんど終わって、次の応用コースへの申し込みを迫られているところまで来ています。今の私の気持ちは、もう10回続けて受講するつもりですが。

この講座は外国人に対する < 音声学的理論に基づく正しい教授法 >、つまり、教師に必要な日本語音声の研修講座です。

もっとわかりやすく言えば、先ず、教師が 1. 正しい(論理的)、2. 美しい(芸術的)、3. 生きた(現実的)日本語を慎みと笑顔で話すことができるように訓練する場です。そして研修では話しことばを中心に分析と比較を通して新しいものを生み出していく姿勢が基本となっています。(これは "in-PROCESS "by ACROSS に書いてあるようにことばの学習の基本精神ですね。)

これまでの私が受けた7回のレッスンで発声、母音の口形、日本語のアクセント、母音の無声化、子音の発音(子音の調音の位置)、語音の特徴(長音、Ei 母音、二重母音、促音、撥音など)、話しことばの卓立(プロミネンスーきわだっていること)について学習し、それらを生かして日常会話練習もしています。

これらのレッスンを通して、共通語なんか今までしゃべったことがなくて大阪弁オンリーを話す私が苦労したり、改めて気づいたことは、

e-dream-s 通信 2001.5 No.7

- 1) 日本語の共通語のアクセントと、大阪弁のアクセントとが非常に違うこと
 - 2) 大阪弁の私は長母音を十分に延ばしきれていない。(「ありがとう。」「行こ。」など)
- それに ACROSS でやっとこさ身に付けた国際英語(らしいもの)なのに、その影響からか、
- 3) 日本語の共通語のアクセントは高低アクセントなのに、英語の強弱アクセントになっていた。
 - 4) 母音の「ウ」は英語の[u]のように口を突き出していた。
 - 5) 子音の「フ」は両唇は触れるだけで良いのに、英語の[f]のように上の歯が下唇に触れていた。

6)横隔膜呼吸発声を意識するあまり、文の出しが大きい声になり過ぎて後とのバランスが悪くなっていたりする。

こうして、今までの自分を振り返ってみると、ACROSS に入るまでの英語は大阪弁で代用していたし、いざ、正しい日本語の学習をすとなれば、知っていますとばかりに英語音で代用しているし、我ながら、ひどい奴だとあきれています。

でもさあ、正しい、美しい、生きた日本語を話せるようになるには、ACROSS での訓練と同じく、また、これから10数年、いや、年をとってから新しく始めたことを体が覚えるにはそれ以上年数が必要でしょう。

「どう、します？」

「全権大使よ、やるっかないでしょう！」

「でも、不器用だから、あまり、英語を忘れていきそうでもとても不安なんです...。」

「どちらも、練習、練習しかないでしょう。」

「ごもつともです。」

みなさん、聞いて下さい。えらいものですよ。この文章を作成中は声には出しませんでした。頭の中は共通語のアクセントで文節がつながって行ってました。捨てたものではありませんね。

お知らせ

< 市民のための NPO 入門講座 >

日時：5/18～6/8 の毎週金曜日 午後7時

会場：大阪市立社会福祉研修センター（大阪市北区同心1）

講師：早瀬昇（大阪ボランティア協会事務局長） 小山琴子（女の目で大阪の街を創る会代表）

受講料：5,000 円（テキスト、資料代含む）

申し込み：5/14 締め切り 同協会 NPO 推進センター tel 06-6357-8391

< 難民や環境などアジアの問題学ぶ >

日時：6月5日から、9月までの全15回 1回目をのぞいて火曜午後7時から。

会場：アジアボランティアセンター（AVC）研修室（大阪市北区茶屋町2）

内容：「アジア地域理解セミナー・平和と国際協力」

アジアや太平洋の国々の女性、難民、平和、民族、環境問題など諸問題を学ぶ。

* 1回目は前島宋甫・関西学院大学教授 「朝鮮半島の平和・統一をめぐる」について

受講料：13,500円

定員：30人

問い合わせ・申し込み：AVC tel 06-6376-3545

* 上の2つの情報は、4月から産休に入っている会員の後藤さんより、メールで頂きました。

< 学びと社会参加をつなぐコーディネーター・トレーニング >

市民自らが講座やプログラムを企画・実施するのを助ける役割、同じ地域で活動しているのに知り合う機会のない人たちやグループを出会わせる役割、学校と地域あるいは市民と行政・企業との間をうまく連携する役割。現在「学び」と「社会参加」を意識的につないでいくコーディネーターの存在が求められている。そこで、実際に地域の学びの場においてコーディネーター的な役割を果たすことを求められている人々を対象に、コーディネーターの資質・技術向上およびコーディネーターの有機的ネットワークの構築を目指し、10ヶ月にわたってトレーニングを行います。

日時：第1・2回 5/26・27 10時～16時

場所：26日大阪市北市民教養ルーム 27日クレオ大阪西

参加費：20000円

対象：社会教育主事・ボランティアコーディネーター・学校教員・地域人権教育推進委員・NGOスタッフなどでコーディネーター的な活動を実践している人

定員：20名程度

e-dream-s 通信 2001.5 No.8

申込方法：氏名（ふりがな）、住所、Tel/Fax番号、E-mail、所属、実践している活動、講座に期待することを記入の上、Mail又はFaxして下さい。

申込締切：2001/5/14

問合せ・申込先：学びと社会参加をつなぐコーディネーター・トレーニング実行委員会

担当：田村紀子

E-mail:tamurank@hotmail.com Fax:06-4306-1280（田村方）

< NPOサロン 「こうすれば獲得できる、助成金」 >

運営財産の確保はNPOにとって重大事。どんな助成金がどこにあって、どうすれば受けられるのか。活動にあった助成金の選び方から申請書の書き方まで具体的にアドバイスします。

日時：6/7(木) 15時～17時

場所：(特活)宝塚NPOセンター 宝塚市堺町2-1-1 ソリオ1-3F

講師：赤松弘揮氏(伊丹NPOセンター)

参加費：500円

問合せ・申込み：宝塚NPOセンター

Tel：0797-85-7766 Fax：0797-85-7766 E-mail：zukanpo@gold.ocn.ne.jp

NPOオリジナルのエコ商品のご紹介！

「エコペーパー100」新聞古紙 100%・白色度 60%の再生紙

- (特活)中部リサイクル運動市民の会

NPOと企業のコラボレーション(協働)で生まれた再生紙が「エコペーパー100」ありそうで、ないのが「エコマーク認定商品で、白色度60%のPPC用紙」エコペーパー100しかないのです。古紙100%はあたりまえとして、白色度は70%と60%では、なんと約20%も環境負荷が違うという結果(株式会社トキワの自社比)が出ています。皆さんの活動で使う紙は、ぜひ目と環境にやさしい「エコペーパー100」を利用してください。

問合せ・注文先：NPO法人中部リサイクル運動市民の会 釘山健一

Tel：052-931-3439 Fax：052-931-0505 E-mail：kugiyama@es-net.sf21npo.gr.jp

—(特活)大阪NPOセンター メールマガジン「伝えたい」より—

< e-dream-s 通信付録 >

aglance.org の実

代表理事 辻 莊 一

e-dream-s の設立以来、スピードが大事・正確さが大事・お金のことをちゃんと考えるのが大事と言いつけてきました。これは例えば東京書籍とのビジネスを信頼関係を維持しつつスムー

ズに進める上で必要不可欠なことです。今回の事業は簡単に言えば600枚以上の写真を適切なコメント付きで「売る」と言うことですから、「商品」の価格の交渉もしなければなりませんし、品質や納期について責任を持たなければなりません。まさに、スピード・正確さ・コストの概念抜きには考えられない事業です。

去る5月3日にも中国関係の写真の整理と分類の作業が行われましたが、計画・準備・作業と順調に進んだと聞いています。これはe-dream-sが営利企業とのビジネスが出来るということの一つの証明になっているわけで、大変喜ばしいことであります。

今回の東京書籍との事業はe-dream-sにとって、またaglance.orgという写真アーカイブを立ち上げる上で大切な一歩となるものですが、一方私達がなぜe-dream-sをNPO法人として立ち上げたのかという当初の動機も忘れてはいけません。営利企業との仕事や、目の前の作業の効率やスピードは必要不可欠ですが、それを何のためにやっているのかを常に心に留めておく必要があります。

具体的にいえば、aglance.orgの内容を考えると、スピード・正確さ・コストそれに顧客サービスという観点だけでなく、自分たちが本当にやりたいことをやりたいようにやっているかという視点を忘れてはならないということです。つまり、私達の写真アーカイブが本当に自分たちがこうあって欲しいという内容・形式を持ったものになっているのかということをつねに振り返る必要があるのです。

目の前の作業をやることは大切ですし、やり遂げるだけでも充足感がありますが、その結果生まれたものが、本当に私達の欲しい物になるのかを、会員一人ひとりに常に考えて欲しいのです。

aglance.orgはe-dream-sが最初に植えた木です。水をやり世話をしながらそれが、当初思い描いた果実をつけるのか、自分自身がどんな果実を望んでいるのかを考えて欲しいのです。